

水土里豊かな国づくり・土地改良を支える人と技術

—本格化した東日本大震災復興工事—

亘理・山元農地海岸特定災害復旧事業 須賀海岸堤防災害復旧(その3)工事

(東北農政局 仙台東土地改良建設事業所 亘理・山元土地改良建設事業建設所)



赤線は復旧堤防の完成イメージ

東北地方太平洋沖地震の激しい揺れと大津波により、海岸保全施設(護岸や堤防、防潮水門、防潮樋門)が流出・崩壊、沈下するなど広域にわたり壊滅的な被害を受けました。平成23年度に排水路のがれき撤去や排水機場の応急復旧、応急仮堤防の設置等が実施され、今年度より海岸保全施設の本格復旧が実施されています。

本事業では宮城県南部に位置する仙台湾南部海岸のうち、亘理・山元地区の海岸堤防復旧を行います。堤防は発生頻度の高い津波と高潮に対する必要高さとし、最大クラスの津波に対しても“粘り強さを発揮する構造”で復旧をします。

工事内容は、旧堤防の撤去や津波によって洗掘された箇所の埋戻しを行い、提体盛土をし、被覆ブロックを設置するものです。現在、被災地では復興事業が本格化し、労務・資材・機械とも需要と供給のバランスが崩れており、本工事においても、石材や生コンクリート等の主要資材の調達に苦慮しています。

本堤防は被災地の復旧の象徴的施設であり、地域復興への一助を担えるという強い使命感の下に、復旧工事に取り組んでまいります。

Ono Syouji
小野 昭司 未来建設工業(株) 亘理作業所所長



社団法人 土地改良建設協会

Land Improvement Construction Association of Japan